

ブルーベリーに舌鼓！ 新スイーツ試食会

2月3日、香り会館ハーブレンドで、自家製ブルーベリーを使ったフローズンブルーベリーパイの試食会が行われました。

このスイーツは、椋山女学園大学管理栄養学科と香りの森ハーブレンド、山県市の3者が連携して企画・開発したものです。SNS映えする見た目や商品名の提案など、学生ならではの新鮮なアイデアが反映されました。今後も、大学との連携で、山県市の魅力を伝えていきます。



ヤクルト×警察×行政 地域に安心・安全を届ける



2月8日、岐阜ヤクルト販売高富センターと、岐阜北・山県警察署、岐阜市、山県市が連携して、交通安全や詐欺被害防止に向けての啓発活動を開始するにあたり、啓発グッズの授与式を行いました。

今回の取り組みは、高富地区や岐阜市北部を配達エリアとしているヤクルトの販売員ヤクルトレディが、顧客を訪問する際に交通安全や詐欺被害防止のチラシやグッズを渡して啓発を行うものです。

警察だけでなく、地域一丸となって、まちの安心・安全に取り組んでいきます。

大桜保育園で フッ化物洗口説明会

2月15日、大桜保育園の年少児9人が、フッ化物洗口の説明を受けました。

例年は歯科衛生士の協力のもと、フッ化物洗口の方法を指導してきましたが、今回はコロナ禍のため、園児たちは紙芝居でフッ化物について学んだり、頬を膨らませてフッ化物洗口のシミュレーションをしたりしました。

参加した園児は「ブクブクするとお口がきれいになるんだ」と話し、来年度から始まるフッ化物洗口の大切さを学びました。



神崎から世界に発信！ 法人第1号入居記念セレモニー



2月18日、地域おこし協力隊が運営するコワーキングスペース神崎よってちよで、法人メンバー第1号の入居を記念してセレモニーを行いました。

神崎よってちよは、ワーケーションやテレワークに対応したコワーキングスペースで、多様な働き方が実現できる地域の拠点を目指しています。今回入居したのは、高性能段ボール材を使ったキャットハウスの企画・販売を行うWoody Rich(株)です。

これを契機として、過疎地域活性化の先進事例になることが期待されます。

片岡美保香さんが 個展の報告と絵画を寄贈



2月9日、市役所公室で、本市出身の画家片岡美保香さんが、山県市美術館で開催した個展の報告をするため、市長を表敬訪問しました。また、個展に出展された作品『時をまたぐ』の寄贈があり、感謝状を贈呈しました。

片岡さんは「地元で個展を開催することができ、非常にうれしいです。山県市の芸術文化が発展していくことを願っています」と話しました。

市内8郵便局で 風景印を集めよう



2月1日、市役所公室で、高富郵便局長の林孝優さんと美山南郵便局長の金森誠人さんが、市内8郵便局の風景印をリニューアルしたことと、記念事業の開催を市長に報告しました。

風景印には、郵便局付近の見どころスポットや特産品、市のキャラクターが描かれており、山県市らしいオリジナルのデザインとなっています。

また、風景印を全て集めて要件を満たすと、抽選で市の特産品が当たる事業を開催します。開催期間は8月31日までです。

社会を明るくする運動 作文コンテスト表彰



1月21日、市役所公室で、第71回社会を明るくする運動作文コンテスト入賞者の表彰式が行われました。

このコンテストは、次世代を担う子どもたちが、日常や学校生活の中で体験したことを作文に書くことで、犯罪のない明るい社会を築こうとするこの運動への理解を深めることを目的に行っています。

コンテストには、優秀賞4人と優良賞5人が入賞し、表彰式当日は5人が出席しました。

石畑自治会が宝くじ 助成金で公民館備品を購入



石畑自治会が、令和3年度コミュニティ助成事業を活用し、スタッキングテーブル、折りたたみ椅子を購入しました。

コミュニティ助成事業とは(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源とし、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、活動に必要な施設、設備に助成する事業です。

鳥澤英紀さん 第50回医療功労賞受賞



2月16日、市役所公室で、鳥澤医院で院長を務める鳥澤英紀さんが、第50回医療功労賞を受賞したことを受けて、市長を表敬訪問しました。

この表彰は、過疎地域などの困難な環境下で、地域住民の健康増進・疾病予防・治療業務に献身的に携わっている医療従事者を表彰するものです。このたび、医師や歯科医師、薬剤師などの多職種が連携し認知症対策に取り組む態勢をつくった功績がたたえられました。

令和3年度統計功績者表彰 土井和子さんが総務大臣表彰受章



統計調査員土井和子さんが、令和3年度統計功績者表彰により総務大臣表彰を受章され、2月15日に市長から受章伝達を行いました。

土井さんは、平成12年4月に国勢調査調査員として任命されて以降、合計31回の各種統計調査に従事されました。令和2年国勢調査では、物腰柔らかな対応により、調査対象者に丁寧な回答依頼を行い、多くの調査票を回収することで精度の高い調査を行われました。